

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	震災軽減のためのヘテロ解析による地殻イメージング手法の開発とその適用
研究代表者	市村 強 (東京大学・地震研究所・准教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	本研究は、国民の安全安心に直結する研究であり、南海トラフ地震を対象として、観測データを同化し、大規模で高速なヘテロ解析を導入することによって、地震予報技術の信頼性を格段に向上させるものである。また、応募者が実績を有する大規模計算を実行可能とする計算シミュレーション技術の展開は、広く他分野の計算科学の発展に寄与するものである。